



2022年8月19日（金）の21時から23時、「対人援助学マガジン第4回トークライブ」が開催されました。第4回の話者は「きもちは、言葉をさがしている」を連載中の水野スウさんです。

前半は水野スウさんのトークライブで、連載のテーマでもある「紅茶の時間」のはじまりからお話頂きました。「紅茶の時間」が水野さんの暮らしのあり方とともに少しずつ変化しながら、出会った人たちとの対話・交流を積み重ね、“個人（Be）として尊重される”ことの土台としての「けんぼう」も含みこんでいく過程について、ひとりひとりの実感に届く形で丁寧にお話頂きました。後半は水野さんのお話を受けて、参加者全員がひとことコメント（感想、質問、意見など、何でも一言、チャット機能を使って共有）を出し、そのコメントをめぐって話者もフロアも一緒になって話し合う時間となりました。まさに、水野さんがいつも行っておられる対話と平話が実現する場になりました。参加者の方からたくさん感想を頂きましたので、いくつか取り上げさせていただきます。たくさんのご参加、本当にありがとうございました！

- ◇ とても染みいるお話でした。紅茶の時間の雰囲気伝わってきました。憲法のお話、語りを変えると全然違うものに感じます。
- ◇ 紅茶の時間が元気じゃないときに行ける場所 ということがとてもすきで、わたしは 元気じゃないときに会えるひと になりたいな そんなふうに思いました
- ◇ Doの前にBeがあるということ、とても大切な中身を持っているように思います。また、今そのことがどれほどにないがしろにされているのかと、強く思います。

執筆者トークライブは年2回の開催を予定にしており、第5回のトークライブは2023年2月頃に企画する予定です。引き続きよろしくお願いたします。読書会やトークライブの開催情報については、FacebookやTwitterなどのSNSでもお知らせ致します。

◆マガジン公式 Facebook <https://www.facebook.com/taijinenjyogakumagazine>

◆マガジン公式 Twitter <https://twitter.com/taimagahenshubu>

## ◆第6回読書会のご案内◆

対人援助学マガジン第6回読書会を下記の要領にて開催いたします。

読書会では、指定図書を事前に読んだ参加者が集まり、読書を通して得た気づきや感想、意見を共有することで、より深く、より広く、マガジンを楽しむことができると考えています。

期日：2022年11月24日（木） 21時から23時

定員：10名程度（先着順）

指定図書：「応援、母ちゃん！ -はたらく母親たちの日常-」（最新50号 10回連載中）

※当日までに指定図書の最新号を読んでおいてください。

※可能な範囲でバックナンバーおよび前の連載も読んでみてください。

執筆者：玉村 文 氏

地域若者サポートステーションを経て、現在、南青少年活動センター勤務、アフターケア担当。33歳で初めて出産し一児の母。母親業と対人援助の仕事しながら生きる日常を書いています。趣味は、ヨガとイラスト描き（対人援助学マガジン41号執筆者短信より抜粋）。

ご自身の子育てを題材に、子育て場面の「あるある」を描きながらも、連載のテーマでもある「応援」や、他者の助けを受け止める力「受援力」など、援助職の視点も交わり、まさに援助職者の子育てのリアルがあふれる連載となっています。今回は玉村さんの連載をきっかけに、読んだ感想や意見、質問などを通して交流する機会になればと思います。

申込方法：

お申込みはメール：takashi\_otani7929@yahoo.co.jp まで、件名を「読書会参加希望」としてお送りください。開催期日が近づきましたら、Zoom ミーティングの情報をお送りします。

（編集部）